夕刊 臺灣日日新報 三月二十六日

専賣特許 セール 公一袋 十四錢 石鹸みがき粉 台北 藤田本店

ポート・ブレア（南アンダマン島）奇襲上陸
英軍無條件降伏す

【東京發同盟至急報】大本營發表（二十六日午前十一時）帝國陸海軍部隊は三月二十三日未明南アンダマン島ポート・ブレアに奇襲上陸を敢行、同島英軍をして無條件降伏せしめたり

印度洋の制壓完璧
英國側確認

【リスボン二十五日發同盟】ニューデリーよりのロイター通信及びAP通信の報道によれば、日本軍はベンガル灣のアンダマン群島を占領した、同島防備に當つてゐた英國軍は日本軍の上陸と共に降伏した、日本軍のアンダマン群島確保によりベンガル灣及び印度洋に對する日本軍の制壓工作は殆ど完璧に近いものとなつたと見られる

ココ椰子の産地、住民は裸體

【ベルリン二十五日發同盟】DNB通信は二十五日日本軍のアンダマン諸島占領に關し英國側公表として次の如く報じてゐる、二十三日日本軍はラングーン西南五百六十粁ベンガル灣内のアンダマン諸島を占領した

皇軍の敵前上陸が決行されたアンダマン列島は印度防衛の第一線、ベンガル灣の南東部で南北二百八十キロに連なる大小の列島より成り大アンダマンは北、中、南三島を含みこれに三百餘の島嶼が附屬してゐる、面積百八十五方キロ、人口一萬八千名、同島は南北に長く並び火山脈である、北アンダマンのサッドル山（七八五米）を最高峰として氣候は高温多雨、健康には適しないが植物の成長が著しく、ココ椰子が主産物で外に茶、オレンヂ、砂糖、竹類、木材、煙草を産する、住民は馬來系のミンコピー族で殆ど裸體である、南アンダマンのポート・ブレアは首都、北部のポートコルンウオーリス並にスチワルト・サウンドが暴風の際避難港として利用されてゐる、同島の植民は英國が十八世紀に行つたもので一八五八年以來は印度政廳の管下に編入されてゐる

ビルマ再建道を驀進
蘭貢の治安全く回復

【ラングーン二十六日發同盟】陥落して早くも二週間を經たラングーンは皇軍の庇護の下に着々と共榮圏の基地として再生の歩みを續けてをり、殘虐な英軍によつて破壞された監獄、波止場施設なども既に復舊しペグー、トングー、バセイン方面に避難してゐたビルマ人、印度人達は百人、千人と列をなして平和のラングーン目ざして歸還してをり、ローヤル湖畔には早くも印度人のコーヒー店が出來皇軍勇士達との間に和やかな風景を展開してゐる、商賣上手の印度人商人等は「おはやう」「ありがたう」等と日本語で愛嬌をふり撒いてゐる、又ラングーン北方の歡樂街ペグー市も戰火の中から立上り道路の兩側には賑やかな市場が開かれて歸來した住民達でごつた返してゐる、市場の商人達は口々に英軍の惡口を並べ

「私達は英軍から二月二十五日までに撤退せよとの命令を受けたが、それまでに日本軍は英兵に壓迫されたとの發表があつたため市民は誰も逃げる用意をしてゐなかつたところ數千名の市民は逃げ遲れたとの理由で銃殺された、或る寺の僧侶は縛られて二日間炎天の下に晒され靴で蹴られる等あらゆる侮辱を加へられたため日本軍に救出された後は法衣を脫ぎ捨てビルマ獨立義勇軍に入り銃をとつて前線へ出た」

と當時の英軍の暴狀を日本人さへ見れば訴へる有樣で、市中は嘗ての英軍横暴の名殘を留めぬまでに清掃され治安は全く回復しビルマ再建への活潑な歩みを續けてゐる

最新鋭機で巨彈
コレヒドール襲擊の狀況

【東京發同盟】マニラ二十五日發井添報道班員發＝マッカーサーの逃亡後依然として頑強な抵抗を續けつつあるバタアン、コレヒドール要塞の敵殘存米比軍に最後の鐵槌を加へるべく二十四日決行された〇〇機の大編隊を以て行はれた [illegible] コレヒドール西部地區の兵舎を始め諸要塞軍事施設に必中の巨彈を浴びせこれを悉く破壞し更に飛行場に猛爆を加へ完膚なきまでにこれを擊砕して大なる戰果を收めたが、その擊隊の指揮官〇〇大尉は激戰の狀況振りと敵陣の必死の抵抗を左のごとく語つた

今度の爆擊に參加したのはわが最新鋭機でしかも〇〇瓩の弩級な巨彈を始めてコレヒドールに叩きつけたのだが見事に全彈命中しその威力を發揮した、敵機は一機も姿を見せず頼りなかつたが最後の足掻きを續ける防空陣地から射ち出す高角砲の猛烈さは相當以上だつた、上空は文字通り火の海だつた、午後の防空陣地は殊に激しかつた、高角砲の林から間斷なく飛び出す十彈丸は編隊の前後に一度に七八十發も炸裂しその瞬間直徑一千米程の眞黑い煙の丸い彈丸が深々と立上りわが編隊機の中に [illegible]

全スマトラ島新生
八百萬住民安居樂業す

【メダン二十五日發同盟】わが陸軍部隊の北部スマトラ進駐以來十數日間にしてスマトラ全島は殆ど皇軍の占領下に歸し南方共榮圏の有力な一環として力強い新生の足取りを進めてゐるが、就中メダン、パダンなどの主要都市では水道、電氣、ガスなどの公共施設はすべて皇軍の指導下に復舊し市内の狀況は前同樣に [illegible] 治安は良好に維持され住民は安居樂業の日を送つてゐる、一方戰禍で破壞した道路、橋梁などは [illegible] 工兵隊の手によつて [illegible] メダンよりケタラジャ間の鐵道も既に大部分修理を完成した、かくて全スマトラ島八百萬の住民インドネシヤ民族は今やオランダの壓政から解放され大東亞民族の一員たる自覺に目覺めつつある

英聯合戰時生産參謀本部新設か

【リスボン二十四日發同盟】敗戰につぐ敗戰を重ねてゐる英國は目下生産機構改組による軍需生産擴充を急いでゐるが、ロイター信ロンドン電によればリットルトン生産相は廿四日議會において當面の戰時生産機構 [illegible]

クリップス 印度各首腦會見
同教徒聯盟早くも不滿？

【リスボン二十五日發同盟】ニューデリー來電、印度國民會議派 [illegible]

印度國民會議派委員會開く

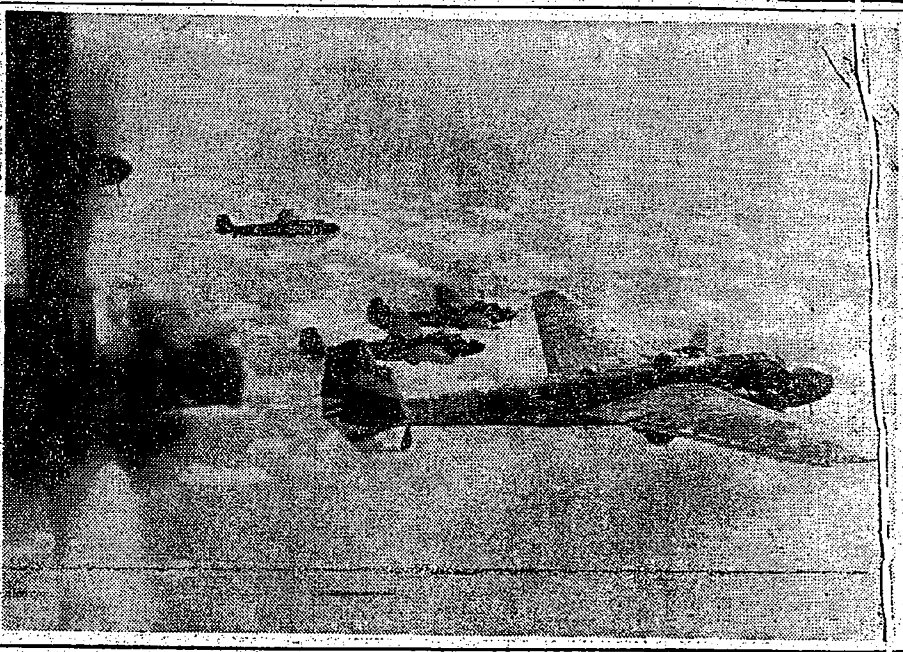
總督、田植視察

英蔣擊滅の決意固し
ビルマ獨立義勇軍閱兵式

【ラングーン二十五日發同盟】[illegible]

意味

[illegible]



濠洲領に猛威を揮ふ我海鷲の大編隊（海軍省許可濟）

勃牙利國王ヒ總統と會見

【ベルリン二十五日發同盟】ブルガリア國王ボリス三世は二十四日總統大本營にヒ總統を訪問、長時間に亙り懇談を遂げたが、 [illegible] 二十五日にはゲーリング元帥をカリンホールの邸宅に訪問した

質問應答の内容
政府の翼贊選擧に就て

【東京發同盟】[illegible]

質問趣意書

政府答辯書

議會閉院式擧行さる
畏し御慰勞の酒饌賜ふ

【東京發同盟】大東亞戰の赫々たる戰果に應へてよく國民總力會議の實を擧げた第七十九議會は二十五日をもつて全議事を終了二十六日貴族院において閉院式が擧行せられた、この日

天皇陛下には臨御あらせられず、東條首相以下各閣僚、松平、田子、佐々木、内ケ崎貴衆兩院正副議長以下兩院議員は午前十時五十分貴族院本會議場に參集、同十一時開式、東條首相恭しく玉座に向つて勅語を奉讀、終つて松平貴族院議長勅語奉答書を奉讀して滯りなく式を終了した

勅語を賜ふ

【東京發同盟】天皇陛下におかせられては二十六日第七十九議會の閉院式に當り貴衆兩院議員に對し畏くも左のごとき優渥なる勅語を賜はつた

勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ與衆克ク朕カ意ヲ體シ協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉ミス

【東京發同盟】第七十九議會は皇軍の赫々たる戰果に應へてその歷史的使命を終へ二十六日閉院式が擧行されたがこの日

天皇陛下には東條首相以下貴衆兩院の議員に賜饌の儀を賜ひその勞を犒はせられた、東條首相以下各閣僚、松平、田子、佐々木、内ケ崎貴衆兩院正副議長、兩院議員、各省次官以下政府委員、内閣書記官、各大臣秘書官、兩院書記官等は午前十一時半より相前後して參内、同十一時五十五分正殿において

天皇陛下に拜謁仰せつけられたのち一同豐明殿において酒饌を拜受し、光榮に感激して宮中を退下した

衆議院の分野
二十六日現在

【東京發同盟】第七十九通常議會は二十五日を以て所定の會期を終り二十六日午前貴族院において閉院式を擧行したが、 [illegible] 二十六日現在における分野は左の如くなつてゐる

▲翼贊議員同盟二〇九▲同交會三六▲第一控室三六▲興亞議員同盟二七▲議員倶樂部一九▲無所屬六▲計四二九▲缺員三七▲定員四六六

豫算の實行方針

【東京發同盟】大東亞戰爭遂行の [illegible]

昭和十七年度における豫算實行方に關する件

壯麗さ歐洲第一
我が駐獨大使館完成

【ベルリン二十五日發同盟】わが駐獨大使館は大使館新館の建物を [illegible]

繰上閣議開く

【東京發同盟】政府は二十七日 [illegible]

山本事務總長迎へ奉公運動の講演會

【羅東電話】[illegible]

プラトン鉛筆

簡素で清い…健康美を！
☆朝夕のお手入れで肌アレ知らぬ若肌が生れます。
洗顔後に・入浴後に 肌アレ止めに・お化粧下に
ウテナバニシングクリーム

猛烈な研究を重ねて出來ました。キング乳剤は同じ除蟲菊製剤中でも一段進歩せる農藥である事は使つた人が異口同音に發表してゐます。類似品が簇出してゐますが、キング乳剤は斷然群を拔く優秀品ですから安心して御使用下さい。
本舗 帝國除蟲菊株式會社 農藥部 大阪市・堂島

NISSEN
化膿性 婦人科症 扁桃腺炎・中耳炎・惡性感冒の正しい治療剤
ポレオン錠「日染」
治療の要諦
近時各種のズルホンアミド剤が簇出して居る際其選定に當つては化學的純度高きものを採ることが治療の要諦であると申すべきです。
ポレオン「日染」
ポレオン「日染」は二基ズルホンアミド劑の純正品で殊に内服に依り化膿性諸疾患に對し短期間に奏効する特徴とします。
元賣 株式會社 稻畑商店 元造 日本染料製造株式會社

伸びゆく日本 明けゆく世界
これからだ！出せ一億の底力
働く人を護るメンソレータム
メンソレータム

★この感激を増産へ★
南國の唄
吾等が台灣の讚歌
斷然ヒット!!
吳生理・詩 八洲秀章・曲
支那メロデーの女王 服部富子
渡台記念盤
テイチクレコード

女子學習院に皇后陛下行啓
卒業式に臨御遊ばさる

【東京電話】女子學習院第五十五回卒業式は二十六日同院で擧行された、この日 皇后陛下には保科女官長以下供奉申上げ、自動車にて午前九時十五分宮城御出門、同三十一分女子學習院に行啓、御臨席あらせられ、同院長以下職員の御挨拶を御受け遊ばされた、當日御臨席の皇族は伏見宮、梨本宮妃、東久邇宮妃、三笠宮妃、久邇宮妃の各殿下、卒業生は中等科五年に 孝宮和子内親王殿下、初等科一年に 順宮厚子内親王殿下には御進級、同十一時四十五分還幸

海洋訓練所を創設
本島青壯年に海の訓練、思想徹底
皇奉・島内から訓練生募集

皇民奉公會中央本部が義烈の精神に照らし本島青壯年に海の訓練を施し南方開拓の國策に副はせしめる目的の下に設置することとなつた「皇民奉公會海洋訓練所」は各方面の協力を得て着々準備を進め、臺北市に訓練所を設け四月中旬より開所することとなり、その要綱を左の如く決定、各州廳を通じて募集することとなつた

一、目的 本島青壯年に對し海洋に關する訓練を施し海洋思想の普及徹底を圖ると共に南方、海運、水産等の職に從事せしめ又は南方進出者たるの資質を錬成し其の職分を通じて皇國の隆盛に貢獻する者を育成するものとす

二、訓練期間 三ケ月（自昭和十七年四月中旬至同七月中旬）

三、募集人員 約五十名

四、生徒の資格 左の各號に該當する男子にして試驗に合格したる者より銓衡す

（一）身體強健志操堅固なる者

（二）年齡滿十六歳以上二十五歳迄の者

（三）國民學校高等科修了程度以上の學力を有する者

（四）修業後海運、海運、水産の職を希望する者又は南方發展の希望を有する者、

五、志願手續 生徒志願者は四月五日迄に左の書類を當該州廳支部經由提出すべし

（一）採用願（別記第一號樣式）

（二）履歴書（別記第二號樣式）

（三）身體檢査書（傳染性疾患の有無）

六、採用試驗 志願者が豫定人員を超過したる場合には左に依り採用試驗を實施す

（一）第一次試驗（州廳支部に於ける選拔試驗）各州廳支部に於て適當なる方法を以て選拔

（二）第二次試驗（中央本部に於ける選拔試驗）各州廳支部より推薦したる者に付口頭試問及び體格檢査を施行す、其の日時場所は追て決定の上通知す

七、給與 採用者の在所中に於ける食費及び實地訓練に要する經費は本部に於て負擔す

外地からの遺兒を激勵
拓相官邸に招き接待

【東京電話】九段の社頭に父兄と晴しの對面をするため遙々外地から上京した殉國の遺兒達、朝鮮十四名（男兒七名、女兒七名）臺灣十一名（男兒五名、女兒六名）樺太五名（男兒三名、女兒二名）は二十六日午前十時井野拓相に招かれて拓務省を訪れた、大臣は生憎議會とかち合つたので出席出來ず、皆さんはお國のために戰死された立派なお父樣達の遺兒です、なにかと不自由なこともありませうがわれわれとしても全力を擧げてお力になる積りですから皆さんもお父さんに負けない立派な人となり天皇陛下に忠義を盡すやう一生懸命に勉強して下さい、とやさしい勵ましの言葉をかけこれに對し遺兒一同を代表し朝鮮の□□仁君（故陸軍□□□一郎二男）が「お父さんに面會のため無事東京へ着きお父さんも安心して下さつたと思ひます、けふお忙しいのにわれわれを御招待下さいまして御訓示を戴きありがたうございました、將來は御訓示を守り父の意思を繼いで立派な皇國民となる決心であります」と健氣な挨拶を述べ、別室でお菓子や靖國神社の繪葉書などを頂き、喜んで歸つた

兩軍神四段に昇段
講道館から二段飛び追贈

【東京電話】故特別攻撃隊の軍神横山正治、古野繁實兩海軍少佐の兩氏は講道館の二段であつたが、二十五日午後講道館で行はれた鏡開き式の際に嘉納館長から兩氏に特に四段を追贈、兩少佐は柔道を以て中堅武人の本領を發揮せる事跡を以て、日本柔道界の至寶として四段から六段に昇段して以來始めて二段の昇段を認め四段を贈つたものである

全島市議協議會への臺北市提案決る

來る四月十五、十六兩日彰化市で開かれる全島市議會議長協議會に臺北市會議員より提出すべき議案は二十五日開催した市會協議會で打合せした結果、左記の四件と決定した

一、本島に保健所法施行方要望の件

二、大東亞共榮圈に飛躍すべき人材の養成機關設置方要望の件

三、本島工業教育施設充實に關する件

四、特別志願兵志願者不合格者に對する善後策要望の件

郷軍機構編成替へ
聯合分會、分會を増強再分割

帝國在郷軍人會、臺北支部では何れも決戰態勢下その機構を擴大強化すべく本島に於ても久しくこれが實現を要望されてゐたが、今回本部の指示により臺北支部管下の郷軍組織の整備が行はれ、來る四月一日を期して、既往の「城内」「城西」「城北」「東門」「南門」の各分會が編成替へとなり、其の中に「東部分會」「西部分會」といつた五聯合分會の下に新たに分會が構成される事になり、所謂下部組織の一大強化を圖ると共に指揮系統の刷新を期する事に決定された、從つて大稻埕等の分會が聯合分會となるのであるが、その分會結成に就ては「一分會」「二分會」といふ風に都市の分會が構成されるので、既に城西分會では來る二十八日午後五時から臺北國民學校に於て臨時總會を開催し、會員に對してその編成及び分會結成の件を示し改めて新たに最後の總會を催して新體制に備へることになつた

軍人援護會臺北市分會評議員會開催

軍人援護會臺北市分會では二十七日午後五時から鐵道ホテルで評議員會を開催し、昭和十七年度事業並に豫算計畫案を附議する、また本月末結成される臺北市銃後奉公會に關しても打合せを行ふ

臺北州看護婦講習所修了式

臺北州看護婦講習所の第六回卒業證書授與式は三十日午後二時から鐵道ホテルで擧行される

殆んど全機に被彈
物凄い對空砲火の網
濠洲ダーウイン攻撃行

【東京電話】陸軍○○基地にて二十五日深山報道部員發―去る三月二日○○部隊が敢行した濠洲西北岸の要衝ブルームに對する攻撃は我航空部隊の戰史にも燦然たる一頁であつた、既報の如く○○機、然も空と海を越えて決行されたこの大奇襲は空中戰に依つてボーイング二機、四發大型機一、ダグラスB一八型爆撃機一、PBY又等飛行艇一を擊墜し、更に地上の敵機二十四機（地上撃破も含む）を爆碎炎上せしめたのであつた、一機をも喪はず、一機の自爆もなかつた、我軍の大戰果である、同時に同じく○○部隊は濠洲北岸のウインダムに行つた空襲とその後西日ポートダーウイン空襲に濠洲北部の重要航空基地を壊滅せしめ我が陸軍航空部隊のジャバ敵航空戰隊を無力ならしめた功績、戰果を擧げ得たのであつたが、以下は陸軍○○基地に於ける同隊將士の座談會である

記者「ブルーム上空に達したのは午前九時三十五分だつた、ジャバ島を脱出した飛行艇がずらりと十九機もゐたのは嬉しかつた、既に着水準備をするものもあつた、エンヂンを起してゐるのもあつた、もう一足遅ければ全部逃げてしまふ所だつた、すぐに空中と地上、水上を睨み

搭乘員は一同搭乘配置をとつてゐるのもあつた

A　私、PBYを發見した、さつと機首をとらせた

大旋回を　して逃げて行くのを追ひ詰め一撃を浴せると途端に左翼が燃え上りアッといふ間にダンクが壞れてバラバラに海中へ落ちて行つたが燃える方向に射ち切られ翼に一撃を浴びた、補助タンクも射ち抜かれた、それでも歸つて來られたのはわが隊の技術が優秀だからです

B　地上の敵機に突つ込んで行つたらエンヂンの右側を射たれボーッと白い煙を吹き出した、座席の後ろも無數に射たれた、自爆するより外はない、どうせ死ぬなら敵の機と刺し違へてやらうと、右へ左へ旋回してまくつた、すぐに火を吐いて敵機が墜ちて行くのが見えた、今度はすぐ

先に飛行場に入つた、そして三十分間で二十八機を悉く燃え上らせてしまつたといふ大戰果になつた譯です、私は先づ南へ逃げ出さうとしたボーイング二機、四發の大型を追ひかけ三分で追ひ付いた、一百米に近づいて第一撃を喰はせたがこれは命中の手應へ、第二撃で三彈を命中せしめたと思つたが敵機は一寸火を吐いただけで消えてしまつた、これはいかんと右にひねつて右翼の付根を狙つて猛射を浴びせるとパッとまた火を吐いた、今度は射ち止めたぞと思つて並行飛行をとつて進んでゐるとその翼はまた火を吐く、消えてしまつた、消えたかと思ふとまた火を吐く、消えたり燃えたり三回目にバアーッと全體に火が廻つてそのまゝ海中へ墜落した

に陸上墓地に突込んで射ちまくり、また飛行機の所へ引返して射ちまくつた、敵機が吐く煙が四千米位まで立ち上つてゐる、滑走路は黒煙で一杯だ、その内にエンヂンの外に補助翼にも一發喰つた、もういよいよ最後だと思つたが奇に一向に平氣である

助かるか　と思ひ直して歸途についた、二十分程飛んでゐるとエンヂンから吐き出す煙が少しよくなつて來た、有難いと思つてゐる矢先へひよつこりとどこから現はれたか敵のB一八が現はれたいつとなく相撃つたと思つて頭上から機銃掃射すると敵も亦ずうつと頭を尾の間に引いて遁げた、ふらふらと着陸してしまつた、その姿勢はもう見えない、よし止めを刺してやらうと急降下で下つてゆくと敵機の中から三人程飛び出した、一人は負傷してゐると見えて海に向つて泳ぎ手を擧げて降伏の姿勢をしてゐる、後の奴は一目散に逃げ出したが負傷者の救護に出かけてやるのも武士道とやらだと思つて見逃して來た

C　全飛行場の敵の飛行機も燃料タンクもやられたもの一機、エンヂンをやられたもの同じく一機、燃料をやられたもの二機、その他の敵飛行機のそれぞれ彈痕のない飛行機はなかつたのに自分の機だけ不思議にも一發の彈丸も受けなかつた、しかし

煙の渦の　中へ突つ込んでも到底敵の姿が見えないので一掃したかと思ひ周圍を見てもう撃墜しやうとするにも敵機が全滅した

D　敵の襲撃を喰つたのは始めての經驗だつたので一體何處から射つたのか判らず敵のロツクヒード、ハドソンとPBYをやつつけはつとしてから調べて見ると燃料タンク、昇降舵、電池とやらに當つてゐる、もうだめかと思つた

F　地上砲火に合せて地上の二十餘機が一齊に射ち上げて來るのだから、まるで弾幕の網の中をつき抜けるやうだつた、あんな物凄い砲火は今までに遭つたことがない

記者（一）ウインダム附近は赤土の一面の荒地で飛行場は却々見當たらず、相當な苦心の後に見付かつたが飛行場はずうーと低空に降りて初めて敵機らしいものが着陸してゐるのを認めた、しめたと思つて急降下して見るとそれが道路だつた、結局格納庫一、爆撃機一機を炎上させたドラム罐置場の所在を確認させただけだつた飛行場がるないことを認めたので後は撤退だつた

記者（二）森田は相當の苦勞をあつたがうと敵と遭遇の時間にダーウインを陸戦隊攻撃で攻撃したのも攻撃の一環だ

するつもり　だつたがロツクヒード、ハドソン一機を撃墜した

記者（一）　敵の殘存機の一機を銃撃して全部炎上させてしまつたのびない、しかし敵機を見るともう時間のことも何も忘れて突撃です、それだけに大戦果を擧げた時には嬉しい

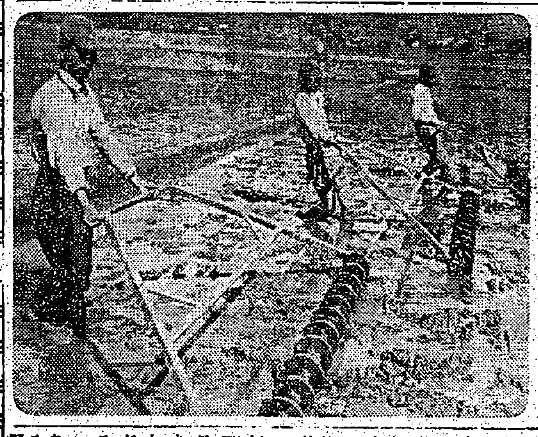
農民訓練所を視る
實習が主で學課は從
晴耕雨讀を指導方針に

この訓練所は實習が主で學課は從であるから、くり返りつける晴天の日には實習、雨の日は學課を行ふに雨耕雨讀を以て指導方針としてゐる、訓練生が皆一擧手一投足によつて働く、働くそれだけで農民魂が培はれて行くのだ、だからここは日曜日といふものはない、また農作物が出來上つてゐないので設備は見るべきものがないが農場が完成すれば訓練所の實習とか、每日の日課も一際施されるとよいが、耕地を整理に着手して耕地の大部分の整理が出來上つたのはどうかと思つたが既に耕地の大部分の整理が出來上つたのは目覺しい限りだ、これから田植えだよと副所長、香川訓導およびその他臺北州から來所した加藤訓導等は嬉しげに語つた、以下は訓練生の一日である

×　×

朝六時、ドンドンと叩く太鼓を合圖に起床、訓練生は十名が一班となり先づ點呼に臨む、炊事は當番となつてゐる、それでも訓練所の雜物が出來る迄は訓練生宿舍で

當番　は三十分前に起きて作業を行ふ、宿舍に揭げられた神棚の前に額を立派な國の兵士たらんことを誓つて後庭におり立つて整列の上朝禮が始まる、七星山から吹きおろす清々しい大氣を胸一ぱいに吸込んで後國旗を掲げ、東方に向つて恭々しく宮城を遙拜、それより所歌と指揮棒の調子によりげふ一日の日課が授けられると朝食をとる、八時から十時迄が學科だ、學科に關する事は學科知識或ひは南方知識が教へられる、月曜日と木曜日は特別講話が行はれる、臺北から督學の三浦州知事、神學長の出張講演を始め各方面の權威が時折來所して訓練生のために特別の講話や講義をも行ふので



耕地　整理が終れば女子ある、訓練生は大々的に墾された田圃においては耕地整理に、田植の苗床の準備に汗を流す、男子は耕地整理が至つてゐるのでそれに從つてゐる

共に田植の爲に方を集中する、かつて叫んだ○○の分列から出された先輩の後を受け「伸び行くたくましい農業として耕地整理の方法は見れば其の先輩の方の力強く整地し、仕上げ、稻を植え、日本の大地を深く耕してゐる、午前の十時の御菓子時間、そして大地を開き開墾の種類である、正午は晝食の時間、一眠りしてお腹をうんと減らしたあとでまた勤勞の時間の無いことを感じない、午後一時から二時半が座學である、訓練の作業をなし、作業の中止となつて作業を終へ作業を休める體操、午後は午後二時から作業が行はれる、かうして日沒と共に六時まで作業が續けられる、入浴して疲れを取り、夕食、食卓は自己の時間だ

勞作　にいそしむのである

夕食、入浴を終れば自習の時間だ、訓練生は日記を記したり、故郷の母へ、妻へ、子への便りを書いたりする、その間、盥臺を據って勤勉な作業との後、九時半迄の諸行事を行つて十時消燈される、以上は訓練所の現況における一日の日課であるが寮に近い行進や農耕生活の出来る農家を建てる計畫もあるといふ【寫眞は男子訓練生の實習振り】【終り】

譽れの子寶優良家庭
臺北市・廿四家庭を近く表彰

産めよ殖やせよ、人口增強の國策に副ふべく臺北市では市助成會が臺北市內各區長より推薦した子寶家庭について戸口調査の結果、子寶家族は二十四家族を表彰すべく四月三日の神武天皇祭を卜して表彰する事となつた、この子寶家庭のうち、一方が臺北の二十家族、一方が臺北の四家族である、即ち阿世知之助氏および姜國奎氏の各男四人、女九人計十三人を筆頭に兒童健在のもの十二人が一家族、十一人が三家族、十人が四家族となつてゐる、なほ內臺人別に見ると內地人十四家族、本島人十家族である

映畫、演劇愈よ統制
けふ臺灣興行統制會社創設終る

總督府指示の下に臺灣に於ける映畫、演劇、演藝の一元的統制、指導を強化し以て新日本文化の建設並に皇民錬成に資する國民娯樂の新體制を確立すべく準々しく發足することになつた臺灣興行統制會社の創立總會は二十六日午前十時半から臺北市公會堂で開催、府側より文教局長、會社側より荒木總務局長、宮尾郵資課長、保安課長等、臺北より劇場關係者、藤村、前田、古賀、吉村、赤尾、安藤、高原國平氏等の出席を得、取締役、監査役の選任を行ひ、取締役社長には荒木氏、專務取締役河村誠次郎、小畑氏、大澤其太郎氏、代表取締役には六名、田中、谷口、赤尾の各氏、吉村、監査役に安藤、辻等の諸氏を指名、何れも了承、總會は正午終了した

托鉢報謝金で傷病將士慰ふ　新竹善導寺

新竹市善導寺では布教監督の下に大東亞戰爭勃發以來市内の托鉢を行つてゐたが、この托鉢で得た報謝金の一部を以て慰問品を集め、四月一日臺北陸軍病院へ寄贈し傷病將士を慰問することになつた

慰問袋提出締切迫る
期日に遅れ機を逸せぬ様に

皇軍感謝週間の行事として發表された慰問袋の提出は、各州廳を通じて一般の獻納を求めたが、その熱意は著しく、全島から期日遲れの虞れのないやう提出を求めて居る、提出の期限は本月末日を以て締切るが同日以降の到着は期待出來なくなつた、本島人側に於て國語の不馴等から慰問袋の作製上遲延することのないやう一般の注意を喚起してゐる

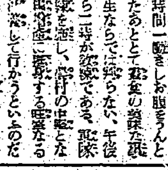
妊婦に育兒教育
新竹署・實際知識を注入

【新竹電話】新竹州衞生課では出產に對する母性教育の徹底を期すべく、妊娠七ケ月以上の妊婦に對し各地方の保健所と協力して講習會を開き、育兒知識を教へる事になり先づ新竹署管内の各部落の本島人婦人會を各派出所毎に指導者による講習會を行ふことになつた、之は新竹署管内の婦人に限らず同郡の各地方にも及ぼす予定で、二十六日より三日間の豫定で新竹州下より四十名を集め講習會を開始したが一方新竹署でも集めてゐる

蕃地教育刷新
教育專任警察官集め再錬成實施

【新竹電話】新竹州警務部では蕃地教育に當る警察官の教育を更に徹底させるべく、蕃地教育所の內容を刷新するため第一段として教育專任警察官の再錬成を行ふことになり、四月一日より角板山で約十名を三班に分け十日間宛錬成させる、蕃地教育所の內容刷新は蕃地教育の一紀元を劃するものと注目されてゐる

キング　四月號
五十錢・送料・（地方運賃）ひみつ　お近くの書店に
（折込地圖）●濠洲方面明細地圖（世界の現況！日本の世界！）●印度方面明細地圖（壹・通・印度の現勢圖）
▲次の問題 北太平洋を語る座談會
▲シンガポール入城手記……影山　昌選
▲米英は何をしてゐるか……大佐　平出海英
▲戲曲 御母……今井　夫
▲建國美談 土の武士道……笹本　寅
▲時代物 親も捨てた娘……吉田　三馬
▲小説 古巣は戀し……大佛次郎
▲小説 奇緣の嫁婿……佐々木邦



三國志（731）
（赤壁の巻）
吉川英治作
矢野橋村畫

一掴三城（七）

さんぐ～惡口を吐きちらすと、郭ち、怒罵を集泥のやうにして、郎琳は、

「誰かある、曹仁匹夫の首を引き拔け」

と叫び、自身も馬首を翻ひ立て、進まんとした。

「潘璋これにあり。いでそれがしが」

と、周瑜のうしろに控へてゐた一將が、驅け出さうとする途端に、周瑜は、かツと口を開き、血でも吐いたか、突を捨てて、兩手で口を覆ひながら、どうと、馬の背から轉げ落ちた。

それと見て、敵の曹仁は、「ざまを見よ。彼奴、血を吐いて死したり」

と、一齊に斬り入つて來た。吳軍は色を失つて、總くづれとなり、周瑜の身を拾つて、陣門へ逃げこんだ。この日の敗北もまた慘たるものであつた。

擾色諸き中に周瑜は取卷かれてゐた。だが、彼は案外、元氣な容子で、醫者のすすめる藥湯など飮みながら、味方の諸將へ語しかけて、

「けふ馬から落ちたのは、わざとしたので、金瘡が破れたのではない。曹仁また毒矢を射たりとて、周瑜の身、一矢に斃れようか」

と、慰つてゐると聞ち、東門から陳新、南門から潘璋、西門から周泰、甘寧、北の城門からは凌統、丁奉、呂蒙などといふ吳將の名だたる手勢々々が城を作り、鐵鼓をたたき一度に取圍めて攻撃して來たため、吳軍の陣の袋に入つてゐた曹仁以下の兵は度を失ひ驚き立つて、味方の城のごとく啼かれた軍勢、十萬の大半を打たれて八方へ潰散した。

曹仁、曹洪、曹純、曹休など、みな、自分等の南郡の城へ向つて逃げたが、途中、吳の甘寧が追ひさへぎつてゐたので、城内へ入ることもできず、遂に、襄陽方面へ逃走するのほかなかつた。

死せる周瑜は生きてゐた。この夜、周瑜は十分に勝ちぬいて、意氣すこぶる旺に、陣容を伴れて、南郡の中を猛進し、いでこの上は南郡の城に、吳の旗幟を高々と掲げんものと、壕の邊まで進んで來ると、これは抑いかに、城壁の上には、旌旗を揚げ、目も醒めない旌旗や、幡が、夜明けの空に、凛乎と立ちならんでゐる。

そしてその高櫓の上には、ひとりの武將が突つ立つて、城に據り下を見下してゐた。

「わが名は趙雲子龍。主君劉皇叔の命をうけ、かくの如く、すでにこの城は占領してある」

と、呼ばはつた。

周瑜は、茫然と、馬首を止めたまゝ、しばし言葉もなかつた。やがて、遊くと凝らした眼に、

「や。周瑜はまだ生きてゐるのか」

と、大いに怪んで顧みた。

それを見た、曹仁も、手をかざして、周瑜を眺めてゐたが、

「なるほど、たしかに周瑜にちがひないが、まだ金瘡は癒つてをらぬ。およそ金瘡、病は、怒を激すときは破れて血を吐くといふ。口同じく彼を罵り辱しめよ」

と、將兵へ命令した。

そこで曹仁自身も先に立ち、「周瑜よ。よくも來た」

などと罵り、その尾について、彼の將士も、

一團の兵が斬り出して來て、吳の陣へ大擧を決行した。

ところが、陣中は、旗ばかり立つてゐて、人影もなかつた。罠々として、捨てた篝が所々に燃え殘つてゐる

「さては早、ここを拔つて、引退したか」

ひもありません。曹仁、曹洪、曹純など、陣醫、生命に及ぶ騷ぎにかかつた。そこで本陣では、吳の陣へ大擧の結果、敵が既に

い。曹仁は、血を吐い、周瑜の身死すると思ふ、まさにこれぞ天の與へたる機會だ、さつそく夜々に發旗を立てて、周瑜死せりと、觸れまはらせよ」

と、云つた。

次の日の夕方ごろ、曹仁の部下が城外で、吳兵の一將隊を捕虜にして來た。訊問してみると彼等は吳の大都督周瑜が、金瘡の再發から大熱を起して陣歿されました。で、吳軍は急に本國へ引揚ることに内々決つたやうです。所詮、吳に勝目はありません。勝目のない軍についてゐても、雜兵はいつまで雜兵で終るしかありませんから、一同談合して降參に來たわけです。もしわれわれをお用ひ下さるなら、今夜、吳陣へ案内いたします。吳に服して陣歿の周瑜を祭つてゐる所へ押襲れば、敵の主力を殲滅し得ることは疑ひありません

盟邦カーボン紙
株式會社 内田洋行

クスリはホシ
便通　食慾　榮養
能　能　能　食　快　眠　ホシミクローゼ
胃腸・強生　一家に一個
……がないと、頭痛、メマヒ、動悸、息切れ、吹出物はおろか、遂には致命的な高血壓さへを誘發します。ホシミクローゼは、酵母劑の上を行く日本固有のビルツ（有効菌）劑。無理のない、自然な便通を正確につけます。
一ケ月分 三六〇錠 一圓五〇錢
東京・臺北 星製藥株式會社

育兒戰線！
揺がぬ發育抵抗力。
榮養物を容易に消化吸收する胃腸機能。強靭な腦と心臟。賴母しい發育力と抗病體質。救急・治病・保健に秀れた良藥は健康兒へと導く綜合効果を遺憾なく發揮します。
主効　カンムシ、夜啼、諸發熱、消化不良、青便、乳吐き、ヒキツケ、氣鬱、異常便、智慧熱、胎毒質、虛弱兒
●ハシカ疱瘡の前後にも●
小兒良藥 樋屋奇應丸
大阪天滿　本舖 樋屋合資會社

馬來語 比律賓語 緬甸語
會話・日曜教授
戰時下の日曜を活用せよ！
東京市麹町區有樂町二ノ四 南方語日曜會話會

丹平
外用特効 皮膚病に
タムシ液
特長 殺菌力が強く かゆみを止め 速く快く効く
主効 たむし、いんきん しらくも、ぜにがさ 其他皮膚病に卓効
東京 丹平商會

いざ……といふ時 役立つ身體
婦人も……また銃後の戰士です。いざといふ時役立つ身體でおかねばなりません。（以下略）
各地藥店にて販賣
本舖 宮内善進堂
婦人藥 美神丸
特別進呈

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

アンダマン群島一帶占領
ベンガル方面の脅威濃化

【○○基地二十六日發同盟】陸海軍緊密なる協同下に皇軍部隊は二十三日未明アンダマン群島ポートブレア附近及び群島北部數ヶ所に敵前上陸を敢行、同群島一帶を占領、ここにベンガル方面への脅威は一段と濃化するに至つた

セーロン島震ひ上る

【サイゴン二十六日發同盟】日本海軍のアンダマン群島占領により印度洋の制海は一段と緊密となるに至つたが、セイロン島知事は二十五日危機に備へて同島住民一致協力による島防の防禦強化を要望して次のごとく布告した、緊急の情勢は寸時の猶豫を許さぬものあり、セイロン住民は恐怖と共に速かに必要なる防衛措置を完成しなくてはならない

米英商船二隻沈沒

【ヴイシー二十五日發同盟】アヴアス通信ワシントン電によれば米海軍省は二十五日商船二隻（內一隻は英國籍）が大西洋岸においてて魚雷攻撃をうけ沈沒した旨發表した

印度の前褌を取る
英、印の交通重大脅威

【東京發同盟】さきにわが海鷲の猛爆を受けたアンダマン諸島のポート・ブレアにわが精強なる陸海軍部隊は二十三日未明緊密なる協同の下に果敢なる敵前上陸を敢行、直ちにして同島守備の英印軍を撃破し、降伏せしめこれを武装解除した外、更に附近の諸島を攻略占領の殘敵掃蕩を終了した、ポート・ブレアは昭南島、ラングーン、カルカッタ、マドラス、セイロン等から殆ど同距離の地點にありとれら諸地のごとく四方に睨いた戰略的要衝の地を占めるべく兵家必爭の地として英國はその軍事的價値を重視、營々として兵備を固め天然の要害を利用して強固な防備陣地を構築、これに多數の英印軍を配してゐたものだが、既に皇軍の實力を前に其の脆さを知つてゐる彼等は抵抗の愚かさを知つて無條件降伏を申入れるに至つたもので、これによりわが方はカルカッタ、マドラス、セイロン等印度洋上に瞰臨する地位を占め印度に對しては其の前褌を取つた形でわが海軍作戰の活躍と相俟つて印度と英本國との交通連絡は今や重大危機に陥され、蔣介石の援蔣ルートの死命を制する重大な一歩を踏みだしたことは疑ひを容れず、かくしてわが皇軍の手中に收められた印度ルートのごとき皇軍のアンダマン諸島占領によりカルカッタが直接脅威に直面することとなつた

小人島アンダマン

【東京發同盟】印度洋を舞臺に平和な過ごしてゐた英國がシンガポール失陥後の戰略根據地と恃む印度洋の前衛線アンダマン列島も遂に皇軍の鐵槌の前に脆くも潰え去つた、アンダマン諸島はベンガル灣の南東部に位し大小兩アンダマン列島より成つてゐる、大アンダマンは北、中、南の三アンダマン島を主とし二百の小島がこれに附屬して小アンダマン島と共に一面積二千五百八十哩、人口は二萬三千である、海底山脈上に噴出した火山島で、土地は一般に高く氣候は高溫多雨で植物の生長も著しく草林、竹林が繁茂してゐる、列島における住民は主として首都ポート・ブレア附近に群集してゐる、ブレアの人口は一萬七千餘で島民人口の大部分を擁してゐる、原住民は十二種族に分れ主なるものはジアラワ族で殺人族と稱せられ、オンゲ族がその代表的である、これらの原住民はネグリート族に屬し身長が低く男子は平均四尺六寸八分、女子は四尺三寸二分、皮膚は黑く半裸で儀式以外には衣服を用ひない、アンダマンなる名稱は「猿のやうな人間の住む土地」の意を持つマレー語に由來するもので昔はこの列島を

しと今日、討伐隊の如くたり皇軍の戰ひる行路は遙に强大なるものがあらう、一方進む皇軍にとつてこの諸島を制したことは北はビルマよりベンガル灣、下つてスマトラ、ジヤバと結ばれた大東亞海は外敵の侵入を防ぐ湖沼のごとき安全水域となつたのである

「不祥の群島」とか「夜叉島」等と言つて人喰ひ人種が住むと言はれてゐる、印度十七州中最小なる州で知事の下に統治されてゐる、

年中最大の産業がある、一千九百三十年に於けるアンダマン列島の總人口は六千六百九十九人である、近年印度政府この地に印度人の移民を努め歡迎して人口の増加に努めてゐるがその努力に比して效果は殆ど無少の一途を辿つてゐる、高温多濕の爲め椰子及びゴム樹の成長に適し、マニラ麻、シサル麻の栽培も盛ん

一千七百八十九年ブレア大尉の率ゐる英國軍がこの地を占領したが一千七百九十六年一旦この地を放棄し、其後一千八百五十六年再び占領、その後これを印度政府の流刑地として囚徒を送り、罪人の流刑地に用ひてゐたのでポート・ブレアには監獄があり

▲ポート・ブレア　首府は南アンダマン島の東岸にあるポート・ブレアである、本列島中最大且つ重要な港湾で主要貿易は此處で行はれ諸船舶の大半は同港に出入する、しかし印度政府の許可がなければ商業の目的で同港に寄港することは許されてゐない、印度政府を代表してアンダマン列島及びニコバル列島の統治に任ずる知事の駐在地の外流刑地を管理する主吏等

下林産物による歳出收入は年百六十萬ルピーに上つてゐる、その他米、豆、甘蔗、茶等があり近郊から産する海産及び椰子等も有名である

の防止地である前記同島は現在ブレア港の周圍に散在してゐる　軍事施設としては大規模な陸上飛行場があり印度洋の前衛基地をなしてゐる

天皇陛下けふ行幸
陸軍航空士官學校御親臨

【東京發同盟】天皇陛下には今二十七日埼玉縣豐岡町の陸軍航空士官學校に行幸同校第五十五期生徒卒業式に親臨あらせられる、この日陛下には陸軍御軍装にて還御侍從武官長、侍從長以下供奉の諸臣を召させられ午前八時五十五分宮城御出門、宮城外苑に整列する傷病の遺族等の奉迎を受けさせられ同九時十五分豐岡の同校御着、同十一時五分卒業式に親臨、陛下には同校で陸軍飛行場における卒業生徒の編隊飛行、國分列飛行を御覧、熊谷等の地上演習を具さに御覧あらせられた後、本部の御便殿に入御、御晝食を賜らせられ午後零時五十分御發、午後二時二十分還幸の御豫定

印度洋サバン港占領の陸戰隊勇士（檢閱濟許可）

議案悉く審議終了
御同慶に堪へぬ
東條首相談話を發表

【東京發同盟】大東亞戰爭の緒戰たる赫々たる戰果の裡に召集された第七十九通常議會は臨時議會の緊張に引續き重要法案の審議を了し二十五日滯りなく閉會を告げ東條首相は左の如き談話を發表した

この時に當り第七十九帝國議會は終了した、今次の議會は大東亞戰爭の緒戰たる赫々たる戰果の下、建國の大業を一歩を踏み出さんとする重大なる時期に開會せられたものであり、本議會において帝國の今次大東亞戰爭の遂行に向つて邁進する決意と必勝の信念とを更に強く中外に宣示した、而して本議會における言論は大東亞戰爭遂行の完遂に必要なる施策を論議し總ての事項を決し議案を協賛されたことは眞に御同慶に堪へぬ

これに對し誠に議會は本會期間の内に議案を審議し協贊せられた、我國における聖戰の遂行にこれを通じて其の眞意を中外に明にせられたものである

反響　を惹き起したのである、この意味において今議會はわが國議會史上未曾有のものであることを見ることが出來る、政府は大東亞戰爭遂行上必要なる多數の重要法案を提出したが

任期　も亦滿了せんとしてゐる折、翼賛議員の任期は昭和十二年四月の總選擧以來五ヶ年の長きに亘り、その間支那事變勃發より大東亞戰爭に到る帝國有史以來の國難に

重任果した
田子議長は語る

【東京發同盟】日を經るに從ひ益々赫々たる戰果と共に澎湃たる大東亞戰爭完遂の意氣を中外に闡明し國を擧げて第七十九通常議會の決意を新たにした際、恰も昭和十二年四月の總選擧以來五ヶ年の議員の任期を終へたことは感慨無量である、大東亞戰爭と共に翼賛議會の重要なる使命に任じてゐる

期待　してゐるが、この際、國民各位がこれに對して深く理解をもつて政府に協力せられ、もつて國內政治の新體制の確立を期し、益々大東亞建設者として覺悟を新たにすることを希望する次第である

比島三州、行政組織下に編入

【マニラ二十六日發同盟】比島行政委員會は新たに占領地域內に二十五日この旨發表すると共に編入の三州はラ・ウニオン、アブラ、ミンドロの三地方でこの結果比島行政府管轄の地方は十七州に達するに至つた

食糧、石炭等輸送強化
四月より三月間實施に決定

【東京發同盟】政府は大東亞戰爭完遂に絶對不可缺の戰時輸送力の增強を目指して去る一月戰時輸送委員會を設け諸般の施策を進めてゐる、この程その他に依る綜合企畫の下に着々各般の施策を實施し來つたが、今や赫々たる戰果の我が南方資源の開發なる段階に達するに至つた折柄、輸送力の強化を必要とするに至つたので、三月上旬以來戰時輸送委員會をして鋭意考究せしめた結果、新たに「戰時輸送強化期間」を設定四月一日より六月末日に至る三ヶ月間を以て第一次計畫期間とし、特にこの間は輸送の重點を現下緊要なる食糧、石炭などの重要物資輸送に集中することに決定、二十六日午後四時情報局より左の如く發表した

政府は戰時輸送委員會の決定に基き「戰時輸送強化期間」を設定し第一次として四月より六月迄

の三ヶ月間之を實施、戰時下輸送の國家強化を圖る事となつた政府においてはかねて一定計畫の下に輸送力を綜合的に活用しもつて所期の目的を達成すると共に戰時下輸送の需要に應ずるため國內輸送並びに地方國際の國家總動員を確保し、輸送の事情に鑑みその他運營の細目に於ても之が國民との綜合企圖の下に着々各般の施策を實施し來つたのであるが、今や赫々たる戰果と共に

南方　大東亞戰爭遂行力の擴大強化のため、勞働力の現況に鑑み活用する一　最近とみに生産の增加を見たる石炭その他重要物資の輸送を迅速適切ならしむるため一段と輸送力の强化を促進する必要を認め、茲に官民一體國家の總力を擧げて戰時輸送の全能力を傾けて時局に邁進せんとする次第であ

る、これがため一定期間輸送の重點を綜合的に全能力を現下緊要とする食糧、石炭など重要物資の輸送に集中してこれが増強を圖ると共にその他に對しても既定計畫の完遂に邁進せんとするものである、殊に國民の全般的協力により所期の目的の貫徹せらるべきを期待する次第である

北部スマトラ戰果大

【メダン二十六日發同盟】今回の北部スマトラ攻略戰についてわが陸軍部隊の收めた戰果の現在までに判明せるものは左のごとくである俘虜將校二一、下士官兵八七三、鹵獲品＝野砲七、火砲二、高射機關砲一、迫擊砲二、重機九〇、輕機一三二、自動車六三九、其他

南方建設の實務掌る
陸軍司政官六氏任命

【東京發同盟】陸軍では南方作戰の進捗に伴ひ新に占領地建設の重要性に鑑み、益々强化するため見玉察太郎氏等七氏を司政長官として軍政に參與せしめる外、また新たに高村佐久治氏など十四氏をそれぞれ司政官に任命すると共に既に戰地の第一線にあつて占領地建設に活躍しつつある二十四氏の陸軍司政官の任命を行つて來たが、今回更に村田利邦氏、熊野周二氏、藤光正義氏、藤浦武吉郎氏、高村佐久治氏の六氏を決定二十六日左の如く內閣より發表された、よつて右六氏は何れも近く南方に赴任占領地建設工作に携はることとなつた

任陸軍司政官　（各通）
香川縣經濟部長　同　利和
鹿兒島縣經濟部長　熊野　周二
山梨縣總務部長　藤光　正義
愛知縣學務部長　藤浦　武吉郎
任陸軍司政官
敍高等官三等　高村佐久治
（各通）

司政官略歷
▲村田利邦氏　山口縣出身明治四十八年生、大正十五年東大卒業、香川縣經濟部長を振出しに、昨年一月香川縣經濟部長となつた
▲熊野周二氏　山口縣出身本年四十九歲、大正十三年東大卒業、島根縣學務部長、愛媛縣學務部長などを經て、昭和十五年鹿兒島縣經濟部長となつた
▲藤光正義氏　鳥取縣出身、本年四十九歲、大正十二年京大卒業、神奈川縣勞務課長から轉じ、德島縣經濟部長を務めた
▲藤浦武吉郎氏　大分縣出身、本年四十五歲、大正十三年東大卒業、青森縣經濟部長を歷任した

產業界の負傷兵に
充分な看護與へよ
官吏の心構へを訓示

【東京發同盟】大東亞建設の新段階に際し、政府は去る十日中小商工業者の轉業、轉換促進の大本方針を決定し爾來着々と施策の實施を遂行してゐるが、その實施の第一線に當る官吏の職責は極めて重大であり、その職務遂行は自ら施策に携はる業者の心情を左右し施策の實效にも大なる影響を與へることに鑑み、政府は二十七日內閣訓示第號として各官廳に對し和愛協力熱誠懇切事に當るべき心構へを訓示、官廳に公布した

內閣訓示號外
各官廳

今般政府は產業の再編成に伴ひ中小商工業の職業轉換促進の措置を講ずることとなりたる所、このことたるや或は又祖業を捨て家業を廢し或は生計の基礎を移すなど深く國民生活の根底に觸るるものであり、しかも政府がこれを敢へてすることは一に大東亞戰爭の遂行上重大なる問題たる人的物的資源の國家總力發揮のために外ならず、今日の大東亞戰爭遂行力の急速なる擴充強化を圖らんがためにして實に國家存立の要請に出づるものにして、やむを得ずここに至るものなり、政府は本件實施に當りこれを以て萬難を排し官民一體となりその實施に萬全を期せんとす

產業轉換の職業の轉換に伴ふ精神的苦悩も甚だしきものあるべく、本件の轉業者の幾多の犠牲を拂ひつつその實施に協力するは實に國家の要請に應ずる尊き奉公の途にして、各自の業務に熱誠を以てその職責を全うし、轉業者をして後顧の憂ひなからしめ、政府の施策に對する理解を深めしめ、その實施に當る官吏の實行に心を一にして懇切丁寧なる指導を行ひ、官吏自ら其の責任の重大なるを自覺し、和衷協力もつて本施策の目的達成に邁進せられんことを期す

昭和十七年三月二十七日
內閣總理大臣　東條英機

親切心が肝要だ
岸商工大臣語る

【東京發同盟】東條首相は二十七日中小商工業の職業轉換に關し官吏に對して訓示を發したが、これは轉業者の心情に對し政府の深き同情を表し、轉業は國家の要請に基く「國家奉公」であることを明かにしたものであつて、これに關聯して岸商工大臣は二十六日談話を發表した

かねてよりこの問題については官民一體となつて眞に國策に對する協力の赤誠を以て、轉業者の側に立つて心を配り、誠意を以て事に當り、しかもその期待に添ふやう努力せねばならぬ、この點に就いては特に官吏の心構へが肝要であり、各官吏は親切心を以て職務に當らなければならぬ

四大都市に勞務官を新設
伴ふ異動發表

【東京發同盟】厚生省では東京、大阪、名古屋の四市に勞務官を置くこととなり、これが任命を二十五日次の如く發令した

愛知縣學務部長更迭

【東京發同盟】愛知縣學務部長山田武雄氏は知事の勇退に伴ひ本日附を以て依願免官となつたので、その後任には三十六日左の如く發令された

議會關係者を招待
首相、お茶の會開催

【東京發同盟】東條首相は二十六日第七十九議會の閉會に當り、議會關係者の勞を犒ふため首相官邸にお茶の會を開催、議長、副議長、各派代表その他多數が出席した

厚生事務官　秋葉　保廣
同　小倉　弘
同　大橋　武夫
同　鈴木　宗正
厚生省東京勞務官　佐藤　宮治
（兼廳勞務官）厚生省勞務官　伊藤　芳雄

建川大使出發

【クイビシエフ二十六日發同盟】建川大使は二十六日午前一時同市發、小林書記官などを伴ひ新任地クイビシエフを出發歸國の途に就いた、驛頭には宮川參事官、山口武官、中立國外交官並びにソ聯外務人民委員部儀典長バルコフ氏など多數が見送つた、尚久我前同館附ソ聯駐在武官も建川大使一行と同道歸國の途に就いた

カナダは澳に援軍を送らず

【ヴイシー二十五日發同盟】アヴアス通信オタワ電によればカナダ首相キングは二十五日下院において、カナダは濠洲に援軍を送ることが出來ぬと左の如く言明した
カナダは濠洲に遠征軍を送り得ない、それは新たに二個師團を増設し且つ艦隊水兵を增員する爲の陸海空地部隊を編成し近く英本國へ派遣するからである、尚カナダ軍を濠洲に派遣せざる件はカナダが單獨に決定したものでなく聯合國軍事協議によるものである

獨軍戰況發表

【ベルリン二十五日發同盟】獨軍司令部は二十五日次の如く發表した
東部戰線　ケルチ半島において強力な赤軍は新たな攻撃を行ひ來つたが獨軍はこれを撃退した、ドネツ地區において獨軍は赤軍の攻撃を撃退した

對英戰線　獨空軍は二十四日夜イングランド南岸を爆撃、ポートランド港並びにワイマス港を爆撃した
地中海　獨空軍はマルタ島のラヴアレッタ港を爆撃した

蜂谷外事部長歸任

蜂谷外事部長は上京中の所二十六日空路歸任した

今日の府報

（府令）▲告示第三百…號　竹南水利組合區域變更認可の件

日本人の生活史

【新刊】増澤淑著　B6四七〇頁　價一・七〇　〒二四
日本人の生活史
悠久三千年、祖先はどんな生活をしてきたか、而て我等將來の生活はどうであるべきか
民部兵明著　B6三二〇頁　價一・八〇　〒二四
獨習學生速記　學生中の余暇の士に捧ぐ
東京神保町一ノ一七　日本書房　振替東京一一七〇

虛弱兒の榮養に
エルビオゲン
錠（一〇〇錠一圓五〇 三〇〇錠三圓七〇）
東京・日本　ライオン製藥株式會社

日本野球の春いよいよ開幕
野球界
三月十五日號
日本野球半額券　二枚添付　いさゝ下附
現代の相撲　內閣情報局　星野直樹
相撲と武士道　大村一藏
外人の觀た日本の相撲　桑原武雄
二十年振りの觀戰　…
豪快五ッ島の引退　…　相撲回覽板
相撲今昔談
◎相撲の稽古　大錦卯一郎
◎思ひ出の名力士　增島信吉
◎明治初年の相撲記事　加藤進
◎大東亞相撲遠征譚　小川武
◎名古屋場所大相撲記
隨筆　父　笠置山勝一
新時代の學生野球觀　小島六郎
★魂の野球　飛田穂洲
★學生と野球　…
▲大學野球回覽板
戰爭と水泳の伊藤少將
○春の野球戰に直面して
○日本野球に寄す
○日本野球鍛錬記
★現代監督論
★ネット裏放談
・野球批判の閻魔帖
・球界人物評論
日本野球　春の爭霸戰展望
定價三十錢　東京市神田區 博文館

婦人俱樂部　四月號
特輯　厚生省決定　婦人標準服の作り方講習
シンガポール血戰譜　（棟田博）
若い女性が大東亞戰爭の將來を聽く會
輝く大戰果の陰に感激對談
わが生活戰記
母子草
女兒標準通學服の實物大型紙
盛花と投入の活け方講座
國民學校兒童の生活表の作り方と導き方
赤ちゃんを病氣させぬ母親講習
乳母車　千代
この外重要記事滿載（定價五十錢・全國書店にあり）

毎年春施行さる、臺灣普通試驗
普通文官講義
本年は四月十日より施行
本講義の獨學で短期で判任官！
高文にも八會友が揃つて優位合格
講義見本付キ規則書進呈
本新聞名を記入三錢切手同封の上見本を請求あれば
東京市澁谷區明治神宮表參道
日本大學法制學會

社説　戰時下食糧問題解決の要諦　農村下部組織確立が緊要

一

英米蘭の東亞侵略の根據、即ち香港、馬尼剌も既に我手に歸し蘭印の戰も決定的となり大東亞建設の雄偉なる舞臺が漸次擴大されつゝある今日、銃後國民はこの赫々たる戰果の蔭に秘められた皇軍の勞苦に報い且つ東亞十億民衆解放の大聖戰に有終の美を濟すべく、更に一段の緊張を持し反撥精神を以て今日まで第一線將兵とともに困苦缺乏に堪へ抜くの覺悟を新たにせねばならない。即ち南方圏域に展開された占領地域の平和建設と國内態勢の强化こそは銃後國民に課せられた重大なる責務である。[illegible]

二

農林省發表によれば昭和十六年度[illegible]

眼前の事象を直視　奮起一番頑張れ
島民不斷の心構に就て　樋口軍參謀長語る

[illegible]

出資額二百五十萬圓
"產組聯合會"各州割當口數決る

[illegible]

起債發行額決る
第一・四半期七億一千餘萬圓

【東京發同盟】大藏省では二十五日[illegible]

"臺貿"總會終る

[illegible]

青果物需給に萬全
全關係者の協議會終る

[illegible]

共榮圈の生產計畫
品目增加、綜合的均衡へ

[illegible]

產業人結核豫防
保健協力會議終了

[illegible]

日本製鐵臨時總會

[illegible]

臺灣肥料總會
八分配當可決

[illegible]

造林事業を奬勵
嘉義郡で積極的な計畫

[illegible]

罐詰原料のパイン値引上げ

[illegible]

產業戰士の體位保持會議

[illegible]

いよ〳〵實現へ前進
宜蘭商議所創立準備成る

[illegible]

國民貯蓄增强
地方廳に職員

[illegible]

職業轉換運動
商報會中央本部

[illegible]

新規徵稅
關係者が協議

[illegible]

廳政振興へ
花蓮港の計畫

[illegible]

臺東築港
起工式を擧行

[illegible]

臺灣パイン
同業組合聯合會創立

[illegible]

内外商況（二十六日）

株式　動機持ち見送商狀

兜町前場況

[illegible]

兜町後場況

[illegible]

東京長期前場

[illegible]	[illegible]

東京短期後場

[illegible]	[illegible]

東京短期日步

[illegible]	[illegible]

東京長期後場

[illegible]	[illegible]

東京短期取組喰合

[illegible]	[illegible]

東京長期總取組

[illegible]	[illegible]

東京銀行貿株

[illegible]	[illegible]

東京國債賣物

[illegible]	[illegible]

大阪短期前場

[illegible]	[illegible]

大阪長期前場

[illegible]	[illegible]

大阪短期後場

[illegible]	[illegible]

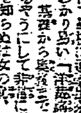
北濱展望

【大阪發同盟】今日は三月限の大取組[illegible]

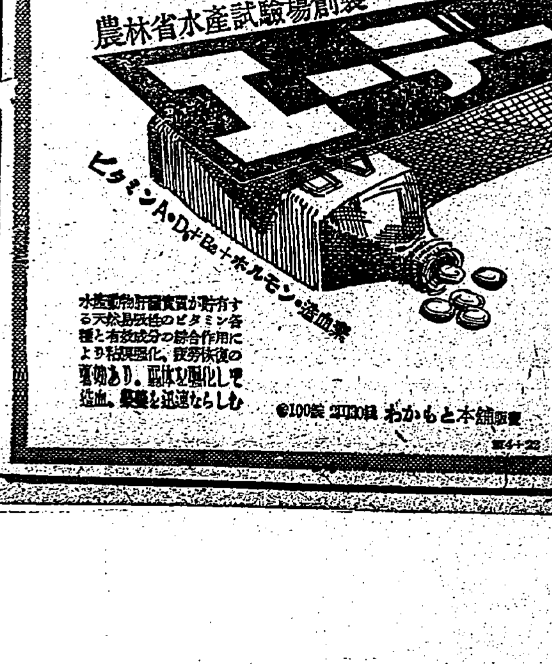
家庭温泉　美身温湯素

肺　ろくまく　痰・咳・胸痛　ね汗・微熱で精氣なき人　精氣ビタアルミン錠

一歩進んだ簡易裁斷の洋裁が…自宅で習へる



[illegible]



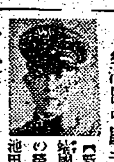
靖國神社新合祀の英靈
一萬五千十七柱
滿洲事變 支那事變 戰死の軍人軍屬

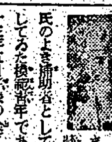
【東京電話】大東亞戰下に始めて迎へる靖國神社の春の臨時大祭は來月二十三日の招魂式に次いで翌二十四日から五日間盛大に執り行はれるが新たに合祀される英靈につき陸海軍當局より手續中のところ、この程御裁可あらせられ合祀仰せ出だされたので二十六日午後その氏名が陸海軍兩省から發表された。今回祭神の列に加はる護國の英靈は支那事變及び滿洲事變の戰殁者中昭和十四年十二月下旬までに戰死、戰病死、公務死を遂げた陸海軍人及び軍屬で陸海軍合して將官十五、佐官八十九、尉官七百三、准士官二百四、下士官五千二百四十三、兵八千六百八十八、軍屬七十五、陸海軍合計一萬五千十七柱である、その中陸軍側は一萬四千五百六十三柱で、滿洲事變關係合祀者宮本己之助陸軍歩兵大尉外六十四柱、同特別合祀者内藤正一陸軍中將外百八十柱、支那事變關係合祀者同部知爾陸軍中將外一萬二千四百二十六柱、同特別合祀者沼田徳重陸軍中將外二千八百八十九柱、又海軍側は東田實久司少將以下四百五十四柱で、支那事變において戰死または戰傷死した者海軍少將東田實久司外二百七十二名、支那事變に關する勤務に服し傷痍疾病などにより死殁した者海軍大佐有田實外百七十八名、昭和六年乃至九年事變に關する勤務に服し傷痍疾病により死殁した者海軍二等水兵柳澤某外一名であり、今春までに靖國神社に合祀された祭神は二十二萬三千七百八十九柱、今回の臨時大祭の新祭神を加へて祭神の總數は二十三萬八千八百六柱に達する譯である、尚今回の合祀者中には朝鮮出身軍人一、軍屬六名も含まれてゐる

光榮の臺灣關係者
吉村陸軍大尉以下四十二勇士

陸に海に輝く大東亞戰下初の靖國神社臨時大祭の盛儀に光り新祭神として合祀の光榮に浴した臺灣關係者は故陸軍大尉吉村幸雄氏以下四十二柱である。櫻花咲きにほふ九段の御社に神々しく立つあの大鳥居を潜り新たに眼に見えぬ大きな遺族たちは今ぞ畏き大御心に深く頭を垂れてゐる

陸軍大尉 吉村 幸男（臺北市建成町四ノ七）
同 鶴長 涌（同佐久間町二ノ三）
同 伍長 安田立太郎（同東町一ノ四）
同 同 前田 榮光（同大正町一ノ四一）
同 同 田谷 勉（同北門町一ノ五）
同 同 黒石 猛（同古亭町）
陸軍大尉 外岡 敬雄（臺北州淡水町三ノ一六）
同 中尉 渡邊 一平（臺北市東門町二ノ七）
同上等兵 國島 幸雄（同本町二ノ四五）
同 大尉 山本 忠雄（基隆市濱町二四四）
同 中尉 佐藤 克己（同明治町三ノ九）
同上等兵 永峰 浩（同旭町一ノ五）
同 上等兵 木村 年彦（同高山町一八七）
同 同 和田 昇吉（同東門町一〇）
主計中尉 小川 誠一（同大和町一八三）
陸軍大尉 橋本 辰夫（同東門町三ノ一）
陸軍上等兵 横山 哲二（同千歳町一七九）
同 大尉 篠田 晉吉（同建成町二ノ二）
陸軍上等兵 深津 德生（新竹州中壢郡）
陸軍中尉 池田 重好（新竹市新富町二〇三）
同 伍長 堤 邦秋（臺中市北斗郡北斗街一二三）
陸軍上等兵 吉宮 輔也（臺中市新高町二〇三）
[illegible]





聖恩の有難さに唯々感泣
故池田中尉夫人談

【新竹電話】靖國神社合祀の榮に輝く故池田重好陸軍中尉の遺族にはハツエ夫人と長女すみ子さんがあり、現在新竹市錦町の池田家遺族住宅に出つてゐる、ハツエ夫人は昨年から新竹國民學校の教壇に立つて愛兒の成長を唯一つの希望として健氣しく軍國の母の偉大なる道を歩んでゐる。[illegible]

九江一番乘りの勇士
光榮に咽ぶ故吉村大尉夫人

有難さに咽ぶ
故和田上等兵實父語る

日本人として最高の光榮です
故小川中尉夫人談

重なる光榮
故渡邊中尉母堂談

この上もない名譽
故前田伍長遺族語る

喜びの二重奏に浸る黒石伍長の遺族

世に誇る"軍國の家"
故鶴長大尉の兩親健氣に語る

皇恩に報い奉る
故横山上等兵夫人語る

有難涙が滲れる
故山上等兵母堂語る

社頭對面の日を待ち佗ぶ
故安田伍長母堂談

殘る三人もお國に捧げたい
木村上等兵實父感激に語る

嬉しさで一杯です
故國島上等兵令兄語る

廣大無邊の皇恩に感泣
故故橋本上等兵實父語る

有難い極み
故橋本大尉嚴父談

皇恩に感泣する故吉田伍長の遺族

[illegible]

北白川宮邸に伺候
宮様方に謁を賜る
臺灣遺兒部隊 光榮に感泣

【東京電話】靖國神社參拜に上京した臺灣の遺兒部隊小川團長以下十一名は二十六日午後二時麻布區市兵衞町の北白川宮邸に伺候、特に宮家では御内庭の御靈殿に一同を召されて靈前に遙拜を許され 故能久親王殿下を始め奉り御代々の御靈前に參拜をさし許され終つて大妃殿下、同妃殿下、美子女王、道久王、肇子女王各殿下御揃ひで遺兒と同じく遺兒となられた故永久王殿下の御殿に御出ましになり一同に畏くも御言葉を賜はつて御激勵に十一名の遺兒に對してそれぞれ御菓子までも賜はり一同は思ひもかけぬこの光榮に感激を新たにせつつ午後二時半宮邸を退出した

けふ・晴れの式典參列

【東京電話】靖國の臨時大祭を前に遺兒部隊は二十七日正午から軍人援護會式典に參列、遺兒代表は小野寺（仙臺市東第二國民學校六年生）に發表される。終つて小發に[illegible]

小さな胸、歡びに震ふ
"靖國の遺兒"勢揃ひ終る

【東京電話】春の空も霞みかけ靖國の社頭に晴れて參拜する光榮の遺兒達は二十六日午後八時五十分東京驛着の佐賀縣部隊を最後に五十五百九十九名がすつかり勢揃ひした、全々二十八、九兩日の「靖國の對面」に先立ち二十七日には午前八時五十五分[illegible]

國民學校(第二號表)に新教科書を採用
今年は一、二年用だけ

本島の第一號表國民學校三年、四年兒童用の教科書は内地と同様新しいものを使ふ事となり、また新年度から第二號表國民學校兒童一二年用も新教科書を使ふ事となつた[illegible]

宜蘭市銃後後援會
四月一日期し誕生

【宜蘭電話】宜蘭市においては懸案中だつた銃後後援會が四月一日午後一時より市公會堂において發會式を擧行するが[illegible]

九軍神への弔慰金
海軍武官府に連日殺到

爆音に驚かぬ樣に
けふ爆彈處理演習實施

卒業のよろこび罩めて
皇軍將兵慰問金 (38)
本社受付

金二百圓 臺灣電力會社臺北支店
金二百圓 臺灣精機株式會社
金百圓 星加正太郎
金百圓 臺灣製糖株式會社
[illegible]

累計金二十九萬九千三百圓九十八錢也

臺灣青少年團幹部に行軍と野營の訓練

防火水は平素から用意して置く樣に

全國隣組常會 四月一日開く

脚氣に照内未

カタギ式 木炭瓦斯發生機
地方總代理店及販賣店求む
大阪市港區海岸通二ノ二〇
カタギ鐵工營業所

家庭用鮮魚購入證
愈よ四月から發行

[illegible]

公告
臺灣單寧興業株式會社

映畫と演藝
新世界館　芳乃館　國際館　第二世界館　大世界館　榮座

萬媒

求貸家 株式會社安宅商會

案内
犬猫 獸醫 眼科 電話 株 印畫 カメラ 紙芝居 メガネ ラジオ 國民服 京染 のせ 引越 町の 梅肉エキス ドラ 新古 刀劍 冷藏庫 卓子 金屬

各位
トラック計畫輸送强化に付御願

陸運統制令の趣旨に則應して迅速確實に輸送し最少の燃料を以て最大の能率を擧げる爲次の如く戰時計畫輸送の强化を圖ることに致しますので來る四月一日より實施

輸送の御申込は前日午後二時迄に御指定日に確實迅速輸送

燃料報國、輸送完遂の爲御得意樣各位の御協力を御願ひ致します。御申込場所は從來通り最寄營業所、荷扱所へ御願ひ致します。

臺北市上埤頭一三九番地
臺北州自動車運輸株式會社

淺井病院
內科 小兒科 呼吸器病科 レントゲン科 入院應需

樋詰醫院
內科 小兒科 臺北市本町一丁目二番地

九一四內服新藥
梅毒 風毒 骨痛 リウマチス特効

ハンドマン
糖 日田醉母 純良

疲勞防止 恢復 快食 快眠 快便

一〇〇錠 二・七〇　三〇〇錠 一・〇〇

賣捌 全島藥店

妻ミツ子儀 海江田
七星國民學校 教頭 新村隆一

敵機の執拗な追撃
比島戰線偵察報告成功 陸鷲勇士回顧談

大東亞戰爭勃發劈頭から南方の空をわが物顏に翔けまはりながら敵地深く侵入しジャングル地帶に潛む敵を偵察し、または敵の地上施設や敵機の動靜を探りこれを逸早く友軍に傳達して大なる戰果を擧げさせた陸の功勞者、偵察機の搭乘士として活躍した内藤國文航空曹長(臺灣新北投築榮町出身)が當時の回想のうち一番ひやりとしたときの思ひ出話(大本營許可濟)

その一 十二月十日は私がはじめて姿を現はした日だ。私はこの日偵察機の操縦桿を握つて午前○時

基地 を出發した。高度を一萬に飛んでルソン島のビガン上空に差しかかるや敵前上陸を敢行中の友軍部隊の勇ましい姿が眼に映じた。しかもそれが下手の海中に浸しながら敵十數の水柱立つ海中を平氣でどん／＼敵陣目ざして猛進する、この有樣をみて私は感激、僞り敵地も忘れて低空旋回をなし將兵の士氣を鼓舞した。敵前上陸中の將兵もこれに應へて爽快な喚聲しかつた、機首を翻して飛翔を續けるうち八時十五分頃機從偵察の"敵機だ、敵機だ"との聲に左手を操縦桿から放して傍らの双眼鏡を取り前方を視ると遙か彼方から大編隊の敵機がこちらに向つて來る。われ／＼はこの敵機がどの種類のものであるかを確める必要があるので彼我の間が五百米位に接近するまで飛んだ。間もなく肉眼でもはつきりみてとれる近距離に達した。みると敵は米が空の要塞と誇るボーイングB一七號機三機の一隊とこれを掩護するカーチスP四〇型戰鬪機三箇編隊約十二機である。これを確認したわが機はこのことを基地に待機中の

友軍 戰鬪機隊に無電で報告すべく機首を返した。敵もさるもの早くもこれを察知し三機ばかりが除隊から離れわが機の後を追つて來る。これにやられると元も子もないので雲を求めたが運惡く雲がなかつた。敵は執拗にも雲の中に逃げ込んだ。敵機は執拗にも雲の中にまで追つかけて來て機關銃を浴びせる。この彈が機體をかすめて四方に散らばつてゐるのがよくみえた。私は操縦桿に渾身の力を注いで右旋左旋行をやりながらこれを巧に避け拔けようとするが執拗な敵機は飽くまでも喰ひ下りどうしても振り得られない。これを繰返すこと三回、漸くにして包圍線から逸脱したが、このときの喜びは飛行士ならでは味はへぬ喜びだ。私は直ちに進路を基地の方向にとるとともに無電で偵察報告をなしたが、豫て待機の友軍戰鬪機はじめての敵機大編隊發見を報じ

[illegible]心底から勇ましく湧き上つて來る感じであつた

その二 十二月十八日、これは私が終生忘れられない日である。この日マニラ附近の敵飛行基地ニコラス、ストーブバン、イバの敵航空狀況偵察の爲め基地を午前〇時〇〇分に離陸、高度五千米位まで上昇して第一回旋回を終つて間もなく發動機から火を發しこれが落下傘と共に燃え移つたので機は瞬時にして火炎を起し機の後ろに物凄い火炎の尾を引いた。私は火の子を全身に浴びながらも操縦桿をしつかり握つて敵の追撃を避け避けつゝ三百米位までしたまでは覺えてゐる。それから先は意識不明で如何にしたのか引張り出されたのか全然判らない數時間後に香睡狀態から醒めて敵や散在一面の森林によつて大火傷を負つたことを知つたのだ――と未だ生々しいその傷痕を記者に示しながら感慨深げに語つた(寫眞は語る内藤曹長)

敵產食用？蝸牛

志願者の銓衡試驗
臺中州の日時、場所決る

【臺中電話】臺中州に於ける志願兵訓練所入所志願者銓衡學科試驗は四月五日午前十時から各市郡役所所在地で施行され、引續き身體檢査及び口頭試問は臺中市村上國民學校で左記日割により毎日午前八時から施行される

四月八日東勢、新高、能高各郡、九日大甲、竹山各郡、十日北斗南投各郡、十一日大屯、彰化各郡、十二日臺中、彰化市、豐原郡、十三日臺中市、員林郡

全農民へ"朗報"
驅除一掃の妙藥劑

食用かたつむり退治の妙藥現はる――昭南島がまだシンガポールと呼ばれた頃英帝國が唯一の東亞侵略の牙城として搾取政策の指令を發してゐたその華やかな昭和七年頃"おいしい"と云ふ折紙附で、この島から臺灣にはるばる渡來した"食用かたつむり"は期待に反し全く嫌ひな食ふ目的がはずれる結果となつてもさつぱり喰へたく、その上に農作物、殊に野菜を食ひ荒して農民はじめ家庭園藝家を惱ますに至り、昨今では農作物の敵として蝸牛驅除の重大問題とすらなつてゐる。從來この"敵産かたつむり"の驅除に關しては上は大學の先生、下は村の子供までが色々に研究したものの妙案の發見が出來ず遂に官廳が陣頭に立ち各所に[illegible]かたつむり驅除の大運動を起し"一つ見つけたら殺せ"と[illegible]を行つて來たものの老獪な敵國そのものゝ様にねばり強く繁殖しその長期戰振りにはいささか手を燒いてゐたところ督府農業試驗所三輪勇四郎技士と臺北帝大理農學部農藝化學教室大島康義博士らの苦心が實を結び見事絶滅出來る妙藥製造に成功した。この新藥は「メタ・アルデハイド」でこの藥千グラムを二千グラムのある種の粉に混ぜて野菜畑におくと、かたつむりがこの香を發つて集まりその藥を食べてたちまち參つてしまふと云ふ譯が中南部各地で實驗の結果判明した。これによると一夜百四や二百匹はたちどころで、いまや英帝國の敗退と時を同じゆうして臺灣から"敵性かたつむり"も驅除一掃される日も時間の問題となつた――これも南方基地臺灣の銃後に見られる"大東亞戰"の凱歌である――と關係者では大喜び、さあこれからはかたつむりの季節だ。農家でも街の家庭園藝でも"必見必殺"の意氣で今度こそ"敵産かたつむり"驅除に頑張らう……そこで驅除劑メタ・アルデハイドは近く專賣局發賣の手で一般に頒布される事になる豫定……(寫眞は野菜類の敵食用カタツムリ)

"臺農"から發賣

賞賜物件
嘉義で傳達式

【嘉義電話】嘉義市では二十七日午前十時より市會議室で平野誠太郎軍曹外十二氏に對する支那事變行賞賜物件傳達式を擧行する

皇奉の歌"指導盛況
臺南

【臺南電話】皇奉臺南州支部並に臺南市支會本社共同主催の臺南市に於ける皇民奉公の歌試唱會は二十六日午後二時南門國民學校に於て佐藤州政府總長、志村皇奉主事外關係者、各國民學校教員、皇奉指導員、青年團員等四百名參集の下に開催、佐々木章氏海原ひろ子孃の皇民行進曲元氣で行かうの指導に入り一同聲高らかに合唱、終つて河野通明氏の指導による皇民體操及び踊りの指導があり盛況裡に四時半終了、夜は七時半から宮古座で奉公班長その他一般に公開指導を行つた

皇奉青年隊修了式

彰化市奉公青年隊修了式は廿五日午後二時より補國民學校で古城助役以下來賓多數臨席の下に擧行修了生五十八名に修了證書を授與の後社隊長挨拶、古城助役訓示、甘得中、島井勝治兩氏の祝辭に続いて修了生を代表して莊耀煌氏答辭あり閉式、引續き校庭に於て馬壯な閱隊分列を行ひ午後三時四十分終了した

新戰場を語る座談會
(五) 日本海軍實力發揮
困つた"スペイン風邪"

本社 それでは次に印度洋方面の色々な御經驗を聞ひたいと思ひます

鳥巢中將 私が參つたのはもう戰爭の殆ど末期、大正七年から休戰の時期まで居つたがやはり印度洋方面で一番苦心されたのは一番最初の方々だつたらうと思ふ、もう私の行つた頃は東洋方面においてはイギリスの艦隊が殆ど引揚げて居ないし敵船は殆ど一掃されあつ、後は全く日本軍艦でやつてゐた、丁度私は竹下勇大將と同一緒に參り特務艦隊參謀長でしたが艦隊の編成は隨分色々變つて、大平の頃には第三特務艦隊と云ふものは廢止され、歐州方面の艦隊は總て第一特務艦隊となり印度洋關係印度、濠洲、ケープタウン總ど全部、大平洋全部が第一の警戒に移管となつた主にやつてをつた時は陸軍と輸送船の護衛で航艦出發と色々の流言蜚語が出たが殆ど出現はなかつた、大體臨平部に過した方面などの輸送船を主にシンガポールからコロンボまで或はコロンボに行く又ダーバンの方面を警戒し、コロンボまで護送すると云ふことであつたが隨分茫々たる海域なのでさう細々なことは出來なかつた、マラッカ海峽には非常に狹い所がありどうでもそこを通らねば通過することは出來ないのでそこを通る船を押へて一々調べるには驅逐艦一隻で十分であつた

本社 天候の具合とか暑さとかはどうですか

鳥巢中將 シンガポール方面は一、二月邊りが非常な雨期で非常に暑い、さうして夜は燈火管制をやり窓を全部締める、その暑さには一番閉口した、船の中では却々眠られない、然し病人は比較的出ない、マラリヤなんかの心配は比較的なかつた、ただ丁度その頃スペイン風邪が流行私の艦でも三百人位の病人を出し、艦が一寸も動けなく隨分死亡者が出た、この間の新聞にその墓が寫されたといふことが書いてあつたがスペイン風邪で死んだ人はあすこに葬つてある、ペナンに行くと軍艦筑摩上の死亡者が深山寢つてある、この墓は今でもあるだらうと思ふ

本社 ゲリラ戰について一つどうぞ……

鳥巢中將 つまりゲリラ戰なんかもいはゆる潛水艦、飛行機が發達した今日においてはもう昔のエムデンやなんかのやり方ではなく潛水艦が主になつてくると思ふ、そこでイギリス邊りが非常に困る事は結局で私は今度シンガポールの基地といふものは非常に大事と思ふ、シンガポールを持つといふことはイギリスが持つてゐるよりも倍以上の力がある。スマトラ、蘭印、飛行基地が出來れば印度洋方面は總て日本が制壓することが出來る、さうなると恐らくイギリスやアメリカのゲリラ戰が印度洋でさう行はれるとは考へられない、多少潛水艦邊りが來るだらうが今日の如く通信機器が發達してをればこれも大した事はないと思ふ、昔のエムデン時代においては無線を持つた船は大きな船だけで殆ど持つてをらないから、何處で沈められたかも判らない、現在では沈められた一一すぐ無電に發する[illegible]も出來る。さうそれに[illegible]昔のやうに荒らすことは出來ない[illegible]

岸井少將 私は丁度第二特務艦隊が編成されるとシンガポールでもつてすつかり勢揃ひした、驅逐艦全部で十二隻、その時の旗艦は明石だつた、四月はじめ地中海に出かけた、地中海方面では潜水艦が相手でこれに對抗するには驅逐艦でなければならないと云ふのでその當時の日本の海軍で云へば相當の二等驅逐艦であつた

日本海軍の腕試し

僕も當時日本の海軍として比較的經驗であつたし日本海軍が海外に出かけると云ふことは始めてのことで、まあこの機會に大いにわが海軍の腕前を見せてやらうと云ふことで一つどんな困難も[illegible]

[The rest of the roundtable, the donation lists (赤誠の獻金), the air-defence article (防空施設を再檢討 高雄州の"防訓"好成績), the radio programme listing, the serial novel 愛の赤道(23) by 竹田敏彥 and the advertisements are too degraded in this scan to transcribe reliably.]